



Tokyo University of Foreign Studies

東京外国語大学 大学院地域文化研究科 Graduate School of Area and Culture Studies

平和構築・紛争予防 英語プログラム Peace and Conflict Studies (PCS)



1. グローバルキャンパス プログラム

TV会議システムでインドネシア（ガジャマダ大学）、カンボジア（パニヤストラ大学）、スリランカ（ペラデニヤ大学）の大学をつないで同時に授業を行なう。リアルタイムでの、各国教授によるレクチャー、学生同士の活発な交流を実現。各国の学生が自分の大学にいなからしての国際的なクラス参加で刺激を与え合い、平和構築に向けて、新たなネットワーク作りの発展を促す。



2. 研究発表会・学生交流

国内（広島大学【予定】・海外（ブラッドフォード大学【予定】）の学生と研究内容を発表し合い、将来につながる交流を図る。



3. 国際シンポジウム

「平和の新時代へ向けて—平和構築・紛争予防の新たるアプローチを探る」
2008年1月25日・26日開催

9カ国から20名の講演者と、一般から150名以上の参加者を招き、平和討論会を行なう。



コミュニケーション力
Communication

平和力 3つのパワー

研究力
Research

1. スタディーツアー

1年生国内、2年生海外（2008年は沖縄と韓国）
過去の実績 2004年12月にカンボジア、
2005年2月に東チモール



2. インターンシップ

研究テーマに応じた現地調査（1、2ヶ月）、現場学習。助成金を支給。修士論文にその成果を反映させる。



これまで学生が行なった
インターンシップ先のリスト

- The African Centre for the Constructive Resolution of Disputes (ACCORD)
- Forum-Asia, Thailand
- International Center for Transitional Justice, USA
- Japan Center for Conflict Prevention, Cambodia Office
- Gender and Development for Cambodia (GAD/C), Cambodia
- Vietnam Television, Vietnam
- InterBAND, Indonesia
- International Center for Conflict and Negotiation (ICCN), Georgia
- Informal Sector Service Center (INSEC), Nepal
- Serbian Democratic Forum, Serbia
- Centre de Recherches et d'Etudes Sociologiques Appliquées de la Lore (CRESAL), France
- Ministry of Interior, Cambodia
- Solidarity Publication, Nepal

3. フィールドワーク

例：東ティモールでのフィールド調査
東ティモール出身、平成18年入学
修士論文テーマ：東ティモールにおける
包括的和解の可能性



撮影：7月1日NHK総合6時 海外ニュース特集にて放映

1. プログラム

- ・平成16年4月 開設
- ・授業は全て英語。
- ・少人数制、紛争地域を含む多国籍による学生構成。（21名、20カ国、2007年）

PCS 教育目的

- * 平和構築における、知識と実践スキルの育成をセミナーやインターンシップによって培う。
- * 平和紛争学のカリキュラムおよび教育手法の発展をめざす。
- * 学生中心による授業
- * 様々なバックグラウンド、文化を土台にした考えを共有。



期待される成果

卒業生は現場での平和構築、紛争予防のミッションを執り行なう。必要充分な理論能力、実践経験を積み、プロフェッショナルな人材として、政府、研究機関、NGO、NPOで活躍していく。

2. 学生

留学生、とくに紛争国から現在までに在籍した総学生数38人
多様な留学生の受入
国費留学生8人
JICA長期研修生8人を含む

クワチア・イギリス・アイルランド・ポルトガル・エジプト・チュニア・ナイジェリア・シリア・アフガニスタン・ウズベキスタン・日本・オーストラリア・ベトナム・カンボジア・東ティモール・フィリピン・アルゼンチン…各1
スーダン・キルギス・韓国・タイ・ネパール・バングラデシュ・スリランカ…各2 USA…4



3. カリキュラム

PCS演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを中心とした体系的なカリキュラム。使用言語は英語

1年 1学期	演習Ⅰ	平和構築・紛争解決理論、社会科学基礎理論
1年 2学期	演習Ⅱ	ケース別紛争研究、平和構築シミュレーション
2年 1学期	演習Ⅲ	インターンシップフィールド調査指導
1年 2学期	演習Ⅳ	修士論文執筆

- *複数教員によるチームティーチング
- *各授業は2コマ連続3時間専攻専門科目（必修）

専攻専門科目（必修）：PCS演習Ⅰ、Ⅱ…8単位
専門特殊研究（必修）：CS演習Ⅲ、Ⅳ…4単位
専攻関連科目（選択必修）：

- PCS研究方法論
- 国際法・国際協力
- 平和構築
- 危機管理
- 中東地域の平和と戦争
- アメリカ地域の平和と戦争
- 日本と東アジアの平和と戦争



4. 修士論文のタイトル

- ・ Realism & Reciprocity: A Quantitative Analysis of North Korea's Behavior 1990 - 2006
- ・ Freedom of Movement Deblocked in Perception: A Human Security Approach on new Kosovo
- ・ Why National Identity Prevents Security Community Formation: The Cases of Taiwan and South Korea
- ・ The Muslim Brotherhood in Egypt (1928 - 1981): Political Exclusion and Radical Outcomes
- ・ Influence mechanism and Foreign Intervention: Causes and Consequences in Afghan Conflict
- ・ Governments of National Unity in South Africa and Mozambique: Reassessing

問い合わせ先

東京外国語大学 大学院地域文化研究科
平和構築・紛争予防講座

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 Phone&Fax:042-330-5472
http://www.tufs.ac.jp/common/pg/pacs/index.html E-mail:pacs@tufs.ac.jp